

○7 番（鈴木美香君）

7 番立憲民主党、鈴木美香です。今回は、大枠で 3 つ質問させていただきます。

では、早速 1 つ目、子どもの視力低下について、先頃、新聞紙上で子どもの視力低下が止まらなると報道にありました。町内の小・中学校の状況はどうなっていますか。スマホ、タブレット使用が日常になっている現況で目は酷使されているのが現状です。何らかの対策はお考えでしょうか。

○議長（濱野良一君）

教育総務課長 堀康晴君。

○教育総務課長（堀康晴君）

鈴木議員のご質問にお答えいたします。

近年、子どもの視力低下が問題になっており、その原因としては、屋外活動の減少、スマートフォンやタブレットの使用、睡眠時間といった、子どもたちを取り巻く現代の生活環境の変化の影響が大きいと考えられています。裸眼視力 1.0 未満の児童生徒は、一貫して増加傾向にあり、近くを見る作業が目の負担を増やし、テレビやコンピューター、ビデオゲームなど、特に長時間にわたる作業が近視リスクを高めることが明らかになっています。文部科学省では、こうした状況を踏まえ、児童生徒の健康管理と視力低下防止を目的とした具体的な対策を示しています。

本町の学校現場では、目からタブレットの画面までの距離は、30 センチ以上離すことや、30 分間画面を見たら 20 秒以上目を休ませるように指導をしています。また事業においては、タブレットのみを利用することはなく、黒板による学習時間も取り入れています。さらに、適切な照明環境や、姿勢なども重要ですので、児童生徒一人一人が自分自身で健康管理をしていく意識づけにつながるよう指導をしています。

また、学校現場のみならず、家庭でのゲーム機やスマートフォン等の適切な使用や、十分な睡眠など、子どもの生活環境を整えることが重要でありますので、子どもと話し合っ、ゲーム機使用のルールを作るなど、子どもの目の健康への配慮について、引き続き保護者への啓発を行ってまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

鈴木美香君。

○7 番（鈴木美香君）

現況で言うので、もし分かればですけど、小学校で何%とか中学校で何%とかっていう数字は出てますでしょうか。

○議長（濱野良一君）

堀課長。

○教育総務課長（堀康晴君）

再質問にお答えいたします。

そのデータというのは、現在持ち合わせておりません。以上です。

○議長（濱野良一君）

鈴木美香君。

○7 番（鈴木美香君）

多くの今、どちらかというと、大体 7 割ぐらいが近視の傾向にあるというふうな報道も一部ありました。私自身が子どものころから目が悪くて大変苦労しましたので、それにも増して今の状況で、タブレットスマホはもう手放せない子どもの環境ということで大変危惧しています。ぜひ子どもの目を守るように、どんどん進行します、皆さんご存じだと思いますけど、緑内障ですとか、白内障ですとかっていうのも、どうしてもその近視から発展しますので、目のことも気をつけて今後も対応していった欲しいと思います。よろしくお願いします。

では、2 つ目にまいります。こどもさくら公園嵩上げ工事について、この 3 月議会で予算が決定しましたが、私が聞くところによりまして、公園使用者や本町周辺の住民に嵩上げについて、聞いてみましたが、結構知らない住民が多いんです。多額の予算を投入し、将来に負担を増やす事業です。住民にとってどうしても必要な事業なのか、私をはじめ、一部反対の声もすでにあります。もっと丁寧に話し合って、住民に周知して意見を聞くべきではないかと思うんですが、いかがでしょうか。課長にお伺いしたいです。

○議長（濱野良一君）

教育総務課長 堀康晴君。

○教育総務課長（堀康晴君）

鈴木議員のご質問にお答えいたします。

住民の皆さまに対して、行政サービスや各種事業について正確、かつ、わかりやすくお伝えすることは、町政運営の基本であると認識しております。

こどもさくら公園整備事業につきましても、これまで地元の要鉄自治会及び赤穂屋自治会には、複数回にわたって事業説明を行うとともに、刈崎地区自治会連合会でも説明し、ご意見やご質問をお伺いしてまいりました。その際、嵩上げ工事の趣旨や概要等につきましても説明し、ご理解をいただきました。

また、議会におきましても、令和 6 年 5 月、令和 7 年 2 月及び 5 月の閉会中の教育民生常任委員会におきましての説明や、一般質問の答弁などで、かねてから、災害時の避難場所、公園の拡張、トイレの整備といった要望を受けており、嵩上げを実施して、国の交付金を受けることにより、町の負担が軽くな

り、かつ、要望にもこたえることができることや、国の防災基本計画においては、土地の嵩上げ等を含むハード・ソフトの施策を組み合わせ、多重防御による地域づくりを推進していくものとされていることなどをご説明申し上げてきました。

町としましては、これまでも丁寧な周知、説明に努めてまいりましたが、今後、広報誌でこどもさくら公園の整備内容をお知らせするなど、引き続き住民への周知に努めてまいります。

なお、すべての住民に漏れなく周知することは不可能でありますので、住民の代表でいらっしゃる議員各位におかれましては、個人的な賛成、反対は別として、町の事業や施策について、町の考えや議会での議論の状況を少しでも多くの住民の皆さまにお伝えしてくださると幸いに存じます。

よろしく願いいたします。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

鈴木美香君。

○7 番（鈴木美香君）

先ほどもおっしゃったように委員会で、一時避難の嵩上げのためと説明されておりましたが、情報量ですとか、知識の蓄積っていうのは、どうしても私も差がありまして、素人考えと言われたらそれまでなんですが、科学的根拠がやはり弱いと思わざるを得ません。そして、地域の方に説明されてたとおっしゃってるんですけど、刈崎方面の方で、やはり本町方面、私はちょっとあの辺り一帯って思ったんですが、そのあたりのちょっと情報格差なり説明の格差もあるのかなと考えました。

何よりも、このまま進めると、旧土庄高校のグラウンド嵩上げのように、今だに私はあそこを責められます、どうしてこういう形なのかと。またも町民から不服をかうのは必至だと思います。そういう個人的な見解とは別に、議会の進行とか町の説明をして欲しいとおっしゃるのはわかるんですが、私はこの30年先を見たときに、この嵩上げが確か本当に妥当だったのかっていうのが、どうしても私の中では疑問がありまして、どうしても町の運営とは同調できないというのが今の私の考え方です。

はっきり申し上げますと、公園を広げるのは賛成です。公園を広げるのが目的なのに、途中から高さが半分ぐらいから高さが変わるのは、使い勝手が実際に悪くなるんじゃないかと思います。公園を拡張するのは賛成だし、トイレも賛成なんですが、嵩上げだけはやめて欲しいと、今この場で私はちょっと表明したいと思います。

では、3つ目の質問に行かせていただきます。

旧土庄庁舎跡地利用について、5月27日の商工会総会の場で、町長が旧庁舎

の跡地利用の予定について発言したと聞きましたが、それは本当でしょうか。

町長お願いします。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

鈴木委員のご質問にお答えいたします。

旧庁舎跡地利用の現状については説明しております。商工会総代会総会で私がお話したのは、今年度、先導的官民連携支援事業、国の10分の10の補助の採択を受けて、旧庁舎跡地を含めた周辺施設の利活用について調査を始めるといことであり、本年2月18日の総務建設委員会での説明内容と同様のことを説明したに過ぎません。また、旧庁舎跡地の横の土渕海峡には多くの観光客が訪れているので、訪れた人に消費をしていただくようなことも含めて、商工会員の皆さんのご意見も聞かせていただければありがたい、と発言いたしました。

したがって、今後どのような形の施設になるかということは、一切触れておりません。

次にですね、すべて通して答弁でよろしいでしょうか。

本年2月に策定した基本構想は、町としての方向性を示すものです。

4番の質問ですが、旧庁舎跡地の利活用は、優先順位が高いと考えております。

次に、何をもって議会に諮ることなく、おっしゃられているのか不思議に思います。先ほど申し上げましたとおり、私はこれまで議会で説明してきたこと以上のことは言っておりませんので、鈴木委員のご指摘のような質問については、議会の場の中で質問としてではなく、私本人に問い合わせさせていただきたいと思っております。その上で、議会におきましては、先ほど申し上げた2月18日の総務建設常任委員会での説明のほか、前年8月27日には、公共用施設跡地利活用利活用検討特別委員会が基本構想案の説明をしており、その説明を議題に、11月8日には同特別委員会が開催され、12月18日付で、同特別委員会が取りまとめた意見を参考に、議長名で意見をいただいておりますので、議会からの了承はいただいているものと認識しております。

また、町民の方々への説明につきましては、本年2月の広報との中の、「アイランドタウン創生プラン基本構想」を掲載し、パブリックコメントもいただいております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

鈴木美香君。

○7番（鈴木美香君）

この案件は、これで2回目で私に直接知り合いの方が、これはどうなってるのかという問い合わせがありまして、その方がおっしゃるのはもちろん、二次情報ですけど、町長がはっきり発言したと言われましたので、それはいかななものかなということで今回議題に挙げさせていただきました。町長が言っていないとおっしゃるんでしたら、それはもう私自身が見てないので、水掛け論になりますが、すごく重大な案件に関して、やっぱり慎重に慎重を期せないと、この問題はやはり、聞いた人はそうだったという結果だと思うので、大分、町の方角としてはすごく大きな事業になることなので、その辺りは、私も気をつけますが、町長も、慎重に慎重を重ねとして発言していただきたいと思います。

何より、町行政の事業について、今回のように噂が先行することが、よくとは言いませんがあります。信憑性の乏しい情報が飛び交うのも疑問だし良くないことだと思います。それは、やはり前町長の事件で、町は信用をなくしてしまっただけです。それも一端だと思います。あれから4年も経ちましたが、今だにこういうことから信用を取り戻すのは至難のわざだと思っています。それでも住民に安心してもらうためにも、信用を取り戻すのが、最大の努めなんじゃないかと思います。そしてそのためには、より公正性や透明性を追求し続けなければならないと思います。特に大きな予算が動く場合は、その方針が決定した過程を公開するべきではないかと思いますが、その件についてはどう考えますか。そういうこと、そういうのをお願いしたい。

○議長（濱野良一君）

質問の趣旨を、もう少し簡潔に言っていいただければ。

○7番（鈴木美香君）

従来からもう決定過程が不明だということを、大きな事業のときに、それも私は町民にいつも言われます。どういうところで決定して、どこで話した話合ってるのだと。そして、町民の意見はどこに上げたらいいたと。ていうことを言われてます。そういうことを今後、町としてオープンにしていくなり、例えば事業が決まったら受け付ける。そういう仕組みを作ってくれるとか。ごめんなさい。なぜ町民がそう思うと思われませんか。

○議長（濱野良一君）

鈴木議員。これ、通告は、土庄町跡地（旧庁舎跡地）に関する、町長発言ということでありますので、それに関連しての質問ということになりますと、町長がこのところ発言したと。水掛け論になると、鈴木議員もお聞きした発言になりますので、もう一度そのあたりをしっかりとまとめていただいて、発言したことに対する質問になるのかということをしつかりと質問していただいて。

○7番（鈴木美香君）

そうすると、町民がそう言ったって取るっていうことは、やはり一部町政に対して不信があるんだと思うんですが、その不信をどう改善していこうと思いますか。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

私も私の発言に対しまして、商工会事務局、また、総代になられている方、10名ほど連絡しました。そのようなことを言っていないと、言われております。

そのようなところで、理解の解釈という部分が商工会の要望を会長の方から、総会の中で皆さまにお伝えしておりますので、たぶん聞かれた方は、会長の要望と、私の発言が重なっているんだろうと思います。

そのようなところで、先ほど申しましたように、基本構想については、広報にて掲載しております。

ですから議員の皆さま、お願いがあります。広報に目を通していただくように、投げかけていただきたいと思います。その中で、パブリックコメントも数件いただいております。それは、そのことに対しての意見を申し述べたい方が、われわれに意見を言っていていただいております。そのような形で進めております。

それと、われわれは議会の中で、このような方向で進めていくとか、進めていこうかというような案につきましては、毎回必ず、皆さまにお伝えしておりますので、そのようなところもご理解ください。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

鈴木美香君。

○7番（鈴木美香君）

やっぱり町民の人が、町民といいますか、私に通報するということは、やはりどうしても不信感がぬぐえないっていう傾向があり得るのではないかな。先ほど申し上げましたが、やはり公正性や透明性を、より一層町民に対して、努力するっていうのを見せていくべきだと思います。それと、お声を聞いてるとおっしゃいましたが、一般の住民は、やはり町長に直接物を言うっていうのはすごくハードルが高いので、そういう例えば大きな事業がなったときはこういうご意見どうぞ、先ほど、なんでしたっけ、何とかいう仕組みがあるという、言いましたが、それもハードルが高いんです。なので、私にみんな言ってくると思うので、そのあたりもちょっと確かに難しいかもわかりませんが、町長がこの事業に対して対面で話し合いを1つ持つとか、例えばこの基本構想みたいな大きな事業、そういうのを考えていただいたらいいなと思います。

すみません。私もちょっとまとまらない発言しましたが、やはりこの基

本的な考えは、どうしても町政に対して不信が払拭してないのかなあというのが、私の今回の話でした。終わります以上です。